

(様式)

郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準に基づく結果報告書

検討段階

PPP/PFI簡易導入可能性調査

事業実施課

文化スポーツ部 スポーツ振興課

施設名称

郡山総合体育館、開成山野球場、開成山陸上競技場

公共施設総合管理計画に基づく検討開始年度

2018年度

所在地

郡山総合体育館：郡山市豊田町3番10号
開成山野球場、陸上競技場：郡山市開成一丁目5番12号

定量評価結果概要（担当：行政マネジメント課）

【前提条件】

- ① PFI事業によるLCCと従来手法による「大規模改修」と「建替」の各PSCによる比較
- ② 事業方式：BT0方式
- ③ 事業期間：施設整備期間1年、維持管理運営期間20年
- ④ 収入項目：使用料を除きその他収入項目はゼロ円
- ⑤ 簡易計算：国土交通省作成の簡易計算ソフト

【VFM】 大規模改修の場合18.5%、建替の場合21.4%

定性評価結果概要（担当：事業実施課）

- ・事業スケジュールは、従来手法とPPP/PFI手法のいずれの手法を採用した場合においても改修・整備までの時間等を十分に確保でき、実現可能性は高い。
- ・PFI法及び郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準に基づく検討過程であることから、プロセスの透明性・公平性が極めて高い。
- ・PFI手法の場合、施設の維持管理やソフト事業の実施など民間事業者のノウハウ活用が期待できる。
- ・PFI手法の場合、長期的な維持管理運営によるノウハウ蓄積により一層のサービス向上が期待できる。
→ PFI手法の導入には有意性があると判断できる。

総合的な評価結果（担当：事業実施課）

3施設については、本市体育施設の中核となる施設であり、耐震改修工事を実施しているものの建築から40年以上が経過し外壁や屋根、各種設備などの老朽化が進んでいる。また、変化する施設基準やプロスポーツ公式戦の開催に対応した機能の充実が求められている。

このような中、限られた資源で施設機能を維持し、最適な維持管理を行っていくためには、PPP/PFI手法の検討は必須である。定量評価結果、定性評価結果ともにPPP/PFI手法が有効であるため、総合的に検討した結果、継続してPPP/PFI手法を優先的に検討する。

次の検討段階

PPP/PFIの詳細な導入可能性調査を実施する

備考

- 1 VFMの計算時、利率・SPCや資金調達費用・税率等については、過去のPFI案件平均を採用
- 2 3施設（総合体育館、開成山野球場、開成山陸上競技場）とも、耐震改修は実施しているものの、老朽化の補修は行っておらず、現状等を把握していない。